

人権に関する作文・絵画(小中学生の部)入選作品

すべての市民の基本的な人権が尊重され、差別のない明るく住みよい町の実現に向け、人権に関する標語、絵画、作文を募集しました。その中から、入選作品を随時紹介します。(学年は平成30年度のもので)



東ときわ台小学校 3年 林 ひかり



東能勢小学校 4年 山本 結夏

言葉

吉川中学校 2年 林 穂乃香

言葉というものは計り知れない力を持っています。時には誰かを助け、時には誰かを傷つけます。「死ぬ」とか「殺す」などという凶器の言葉を使ったりせずに優しい言葉を使わないといけません。「人生が嫌だ」と思う人の周りには、必ず一人は凶器の言葉を平気で使う人がいるように思います。悪気はなく冗談だとしても、そんなことはもうやめませんか。馬鹿らしくないですか。「死ぬ」というたった二文字ですが、その二文字に傷つけて苦しむ人がいます。たった二文字を言うか言わないか、なのです。

なぜ、人は凶器の言葉を使うのでしょうか。私は自分自身を守るためだと思います。周りの人の凶器の言葉から身を守るためだと思います。けれど、結局はお互い傷つくだけです。だったら言わないほうが良いです。傷つかないほうが良いです。もし今までに言ったことがあるなら今からやめましょう。嫌でしょう、誰かが傷つけられるのは。誰かを傷つけるのは。お互いが傷つくことをわざわざ言わなくても傷つくのは。

私も「死ぬ」というような意味の言葉を使いたくありません。けれど、そんなことをして何になるのか、良いことがあるのか、と思います。使わないように心がけています。でもそのとき私はいつも人間の心は、とても弱く、ガラスのように割れやすいものだと思います。

中学二年生の夏からクラブもダメ、学力もダメ、友達関係でもダメ、全てがダメで私の心はボロボロでした。そんなとき、私はある言葉に出会い、救われました。エレノア・ルースベルトさんの「人は生きることが大事なのです。いつも好奇心を持ち続けることです。どんな理由があっても決して人生に背を向けてはいけません。」という言葉です。私は歴史人物の名言などが大好きで、それについて調べていたらこの言葉に出会いました。私はこの言葉に出会ってこの言葉が好きになりました。なぜかというところ、人生は諦めてはいけません。周りを見れば好奇心があふれ出すことがある、というように伝わってきて、生きることに勇気づけられた気がしたからです。とらえかたは十人十色で違いますし、私のとらえかたはおかしいかもしれませんが、私はこの言葉を読んだ時に強く心をうたれました。だからこの言葉が大好きです。

私は一時、何もかもが嫌で、楽しいこともなくて、人生が嫌だとばかり思っていました。けれど、エレノア・ルースベルトさんの言葉どおり、自分についてふり返ってみたり積極的に動いたりすると、「今、私は家族、特に妹の笑顔を守り続けるために生きたい。」という気持ちに気づくことができました。私は人生に背を向けていた負け犬だったのです。失敗するのが怖くて責められるのが怖くて人生から逃げていたのです。私のように「人生、嫌だ。」という人は少なくないと思います。私はそういう人にこの言葉を知って欲しいと思います。この言葉ではなくても、自分の好きな言葉に出会ってほしいと思います。辛い時に勇気をもらえます。頑張ろうと思えます。前を向けます。

私が伝えたかったのは言葉の力です。好きな言葉は自分の力となる魔法の言葉です。前を向けます。たった二文字でもいい、たった二文字でも自分の心に響いた言葉は自分の力になります。だから、言葉についても一度考えてみてください。考えもつかないような素敵な人生になるかもしれません。自分が変われば周りも変わる。自分が変わらないうちの周りは変わらないということなんです。

私は、これからも自分なりに、一生懸命、たった一度きりの私だけの人生と向き合って、後悔しないように努力していきたいと思っています。

町の木/スギ



町の花/タンポポ



町の鳥/ウグイス



町の面積

34.34km²

人の動き	人口		世帯数	
	男	女	出生	死亡
H31.2月末日	19,683人	9,409人	10,274人	8,660世帯
前月比	-4人	8人	-12人	15世帯
人口前月比の内訳	転入等 47人	転出等 38人	出生 6人	死亡 19人